

研究テーマ 資料の提示方法を工夫することを通して、主体的に学ぶ指導の工夫  
—第6学年「町人の文化と新しい学問」—

**【提案】**

児童たちにとって、江戸時代に栄えた文化・学問は、あまり身近なものではない。いかに興味関心を持たせるかが大切になってくる。そこで、本実践では、特に授業の導入時に資料の見せ方を工夫し、授業に引き込ませることで、学習問題や学習内容に関心を持たせたり、資料を比較・対比させたりすることによって主体的に学ぶ児童の姿を目指した。



【資料を見て、わかることを考えている様子】

**1 実践のポイント**

**(1) 資料を加工して提示し、学習問題を導き出す活動**

社会科にとって資料は授業の要である。資料をどのように児童たちに提示するかで児童の反応は変わってくる。本研究では、授業の導入時に「江戸の両国橋付近の様子」を用いる。最初、真ん中の橋の部分を隠して提示することによって、何を表している資料なのか、児童の中に疑問を引き出した。

また、2種類の解剖図と日本地図の変化についても着目させ、その間には何があったのか調べ、考えさせる。

**(2) 学んだことを自分の言葉でまとめ、表現する活動**

毎時間、自分の言葉でまとめとふり返りを書く活動を取り入れる。板書をただ写すのではなく、自分の言葉を大切にノート作りを行わせる。また、単元の「まとめる」段階では、「江戸の文化・学問オススレポート」を作成させる。自分でオススレの文化・学問を選び、学んだことを用いてレビュー（批評・論評）を行わせる。

## 2 実践の位置付け

### (1) 小学校学習指導要領との関連

内容(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ク) 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解すること。

イ(イ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

本実践は、「小学校学習指導要領」第6学年の内容(2)のア(ク)及び(イ)、イ(ア)に基づいて設定されたものである。ここでは、「歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解すること」をねらいとしている。

そこで、本実践では、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことを理解するために、まず、現在の文化と比較しながら当時の文化、学問を調べさせる。例えば、歌舞伎ならドラマ、浮世絵ならアイドルの写真・ポスター、人形浄瑠璃ならドラマ・演劇、芝居小屋なら映画館などである。現在の文化と関連させることによって、より身近に当時の文化・学問を捉えさせるようにさせる。

また、自分の言葉でまとめをさせることに力を入れ、「江戸の文化・学問オススメレポート」を作成させ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解させ、表現させる。

### (2) 実践のポイントの学習評価との関連

・子供をよりよく見取るための多様な評価方法の実施

子供たちをよりよく見取るための多様な評価方法としては、パフォーマンス評価、ルーブリック評価、ポートフォリオ評価などがある。今回の実践では「江戸の文化・学問、これがオススメ！レポート」において、ルーブリック評価を行う。A評価を「キーワード3つ以上用いながら、自分の言葉でレポートを作ることができる」、B評価を「キーワードを1つか2つ用いながら、レポートを作ることができる」、C評価を「キーワードを用いなくて、レポートを作る」とした。

・努力を要する状況(C)の児童に対する指導、支援

本実践では、特に第6時の『江戸の文化・学問オススメレポート』を作り、学んだことを話し合う。」学習活動において、努力を要する状況(C)の児童に対する指導、支援を行っていく。

C評価を「キーワードを用いなくて、レポートを作る」としたが、手が止まっている児童に対してはノートを見返し、まず、江戸の文化・学問にはどのようなものがあったのかを確認させる。そして、自分が興味を持ったものはどれかと問い、何か一つ選ばせる。その際、自分事として捉えにくい江戸時代の文化について、「今で例えると何にあたるだろう」と子供たちに投げかけてみる。例えば、歌舞伎ならドラマ、浮世絵ならアイドルの写真・ポスター、人形浄瑠璃ならドラマ・演劇、芝居小屋なら映画館などである。そうして、一つ選ばせたら自分でまとめたノートや教科書の記述から、文化・学問のキーワードを探させる。その際、ヒト・モノ・コトに注目させる。例えば、蘭学なら、中心人物の杉田玄白、前野良沢、解体新書などである。そのようにしてスモールステップを大切にして、努力を要する状況(C)の児童に対する指導、支援をしていく。

### 3 実践の内容

#### (1) 単元の目標と評価規準

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする。

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| ①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。 | ①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて考え表現している。<br>②歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。 | ①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。<br>②学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 |

#### (2) 指導計画と評価計画（6時間）

○内の数字は時間を表す。

**知**：知識・技能      **思**：思考・判断・表現

〈 〉内は評価の方法を表す。

**態**：主体的に学習に取り組む態度

|  | 学習活動・学習内容  | 評価の観点・内容・方法   | 資料            |
|--|--|---|---------------|
| つかむ  | ① 「江戸の両国橋付近の様子」を見て、わかったこと、気づいたことを話し合い、学習問題をつくる。<br>・江戸の両国橋付近はにぎやかであること<br>・歌舞伎 ・解剖図 ・浮世絵<br>・学習問題を立てること<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">実践のポイント(1)</div><br>学習問題 | <b>思</b> ① 江戸や大阪のまちの様子や江戸時代の文化と学問に着目して、問いを見出している。〈発言・ノート〉<br><b>態</b> ① 学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しを持つようとしている。〈発言・ノート〉 | ・両国橋の絵<br>・年表 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;">             平和で安定した社会が続いた江戸時代の後半には、どのような新しい文化や学問が生まれたのだろうか。           </div> |  |   |               |
| 調べる  | ② 近松門左衛門と歌川広重の活躍について調べ、歌舞伎や浮世絵がどのように親しまれていったのか話し合う。<br>・近松門左衛門 ・芝居見物   | <b>知</b> ① 必要な情報を集め、読み取り、歌舞伎や浮世絵が流行し、多くの人々に親しまれたこと  | ・芝居小屋<br>・浮世絵 |

|                  |  |   |   |
|------------------|--|---|---|
|                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形浄瑠璃</li> <li>・町人の生き生きとした姿</li> <li>・歌川広重</li> <li>・東海道五十三次</li> </ul>  | <p>について理解している。〈発言・ノート〉</p>  |   |
|                  | <p>③ 2つの解剖図、江戸時代初期と伊能忠敬の日本地図をそれぞれ比べたり、オランダの医学書を翻訳する際の苦労や忠敬がどのように測量を進めたかについて調べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蘭学</li> <li>・杉田玄白</li> <li>・前野良沢</li> <li>・翻訳の苦労</li> <li>・伊能忠敬</li> <li>・天文学や測量術を生かしたこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>実践のポイント(1)</b> </div> | <p><b>知①</b> 必要な情報を集め、読み取り、杉田玄白や伊能忠敬といった優れた学者の活動について理解している。〈発言・ノート〉</p>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体新書の解剖図</li> <li>・人物画</li> </ul> |
|                  | <p>④ 国学とはどのような学問か、本居宣長は国学の発展にどのような働きをしたのか、また、江戸時代の新しい時代の動きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国学</li> <li>・本居宣長</li> <li>・「古事記」</li> <li>・「万葉集」</li> <li>・「古事記伝」</li> <li>・ききん</li> <li>・百姓一揆</li> <li>・打ちこわし</li> <li>・大塩平八郎</li> <li>・幕府や藩に社会の問題を解決する力がなくなってきていること</li> </ul>                                     | <p><b>知①</b> 必要な情報を集め、読み取り、江戸時代後半、国学が広まったことの意味と、社会が不安定になっていったことについて理解している。〈発言・ノート〉</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古事記伝</li> </ul>                   |
| ま<br>と<br>め<br>る | <p>⑤ 室町時代のすみ絵と江戸時代の浮世絵を比べたり、江戸時代の新しい学問が、社会にどのような影響を与えたのか短文に整理したりしながら、学習問題の答えを考える。</p> <p><b>学習問題の結論</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>社会が安定するにつれて、歌舞伎や浮世絵などの文化が町人の間に広がり、国学や蘭学などの新しい学問がおこった。</b> </div>  | <p><b>知②</b> 調べたことをまとめ、新しい文化や学問の広がりが、人々のくらしや考え方を変化させたことを理解している。〈ノート〉</p>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すみ絵</li> <li>・浮世絵</li> </ul>      |
|                  | <p>⑥ 「江戸の文化・学問オススメレポート」を作り、学んだことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>実践のポイント(2)</b> </div>   | <p><b>思②</b> 新しい文化や学問の特色を考え適切に表現している。〈プリント〉</p> <p><b>態②</b> 我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。〈プリント〉</p> |   |

#### 4 実践結果と考察

##### (1) 資料を加工・比較して提示し、学習問題を導き出す活動



戦争かな？

争いが起きている？

【橋の様子を隠した資料】



多くの人で賑わっているな。

お祭りだったんだ！

【橋の様子を写した資料】

上の2枚の写真は、授業の導入時に用いた資料である。両国橋の様子資料であるが、初めは、真ん中の人がたくさん描かれている橋の部分はあえて隠して提示した。そこで、何を表している様子が考えさせた。「橋」の様子を想像させ、安定した世の中のため、人々が賑わっていることを捉えさせた。

また、1時間目の学習問題を導き出す活動で、以下のような学習問題が考えられた。

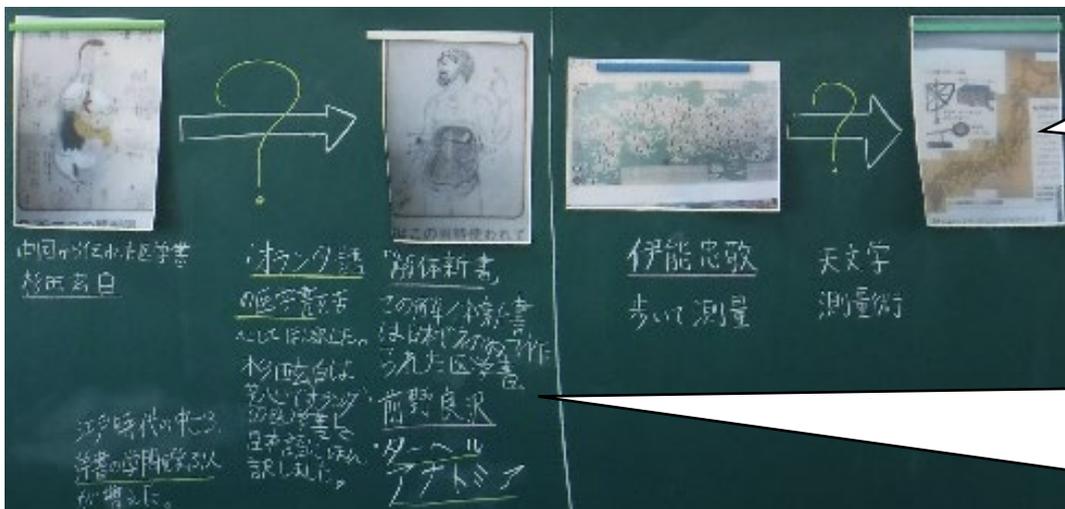
争いがなく、社会が安定していることを理解している。

学習問題  
町人の文化と新しい学問  
安定して平和な江戸時代では、どのような文化や学問が生まれたのか。

学習問題  
当時の江戸のまちには、どのような文化が取り入れられ、どのような学問が生まれたのか。

「文化」「学問」というキーワードが押さえられている。

また、下の板書は第3時のものである。2種類の解剖図と日本地図を提示し、2つの資料の変化の間にどのようなことがあったのか考え、調べ、児童が黒板に板書をした。



正確なものになったのだな。

児童が直接黒板に板書することで、理解したことを表現する活動を確保している。

## (2) 学んだことを自分の言葉でまとめ、表現する活動

単元の「まとめる」段階では、「江戸の文化・学問オススメレポート」を作成した。児童が自らオススメの江戸の文化・学問を選び、その文化の特徴やオススメのポイントなどを自分の言葉で書き表した。以下のようなレポートができた。

|  |
|--|
| オススメの文化・学問「 <u>浮世絵</u> 」   |
| ここがオススメ!!!   |
| 多色刷りで大 につくれる浮世絵は値段が安く、手軽に入れやすいので、人々にも人気です。また歌川広重のえがいた「東海道五十三次」などは東海道の各地の風景がすがすがしくあり、方々にあこがれている人は買ったり観るはたいと思います。また「東海道五十三次」などの浮世絵は、 <u>反画(多色刷り)として大量に吊りられているので、ふるさとへのきれいなおみやげとして買っていくのもいいと思います。</u> |

浮世絵

「ふるさとへのきれいなおみやげとして買っていくのもいいと思います。」→自分の言葉で、浮世絵の良さをアピールしている。

|   |
|---|
| オススメの文化・学問「 <u>歌舞伎</u> 」  |
| ここがオススメ!!!  |
| 歌舞伎は、実際に人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。映像と音声が、 <u>人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。</u>     |
| 私は、歌舞伎を見たことがありません。でも、テレビで見たことがあり、とても面白かったです。歌舞伎は、 <u>人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。</u> |
| 私は、歌舞伎を見たことがありません。でも、テレビで見たことがあり、とても面白かったです。歌舞伎は、 <u>人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。</u> |
| 私は、歌舞伎を見たことがありません。でも、テレビで見たことがあり、とても面白かったです。歌舞伎は、 <u>人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。</u> |
| 私は、歌舞伎を見たことがありません。でも、テレビで見たことがあり、とても面白かったです。歌舞伎は、 <u>人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。</u> |

歌舞伎 「人が動いているのを見て、人が演じているところをオススメです。」  
→歌舞伎がなぜオススメなのか、学んだことをもとに自分で考えて述べられている。

## 5 研究の成果と今後の課題

### 〈成果〉

- ・導入で資料の掲示方法を工夫したことによって、児童の興味・関心を引き、スムーズに小単元の学習に入ることができた。
- ・毎時間、自分の言葉でまとめとふり返りを書かせることにより、主体的に学習に取り組もうとする態度が見られた。「江戸の文化・学問オススメレポート」では、振り返りを生かして書くことができた。

### 〈課題〉

- ・社会がわかるという点では、資料の提示の工夫や現在の文化との比較を通して、江戸の文化や学問についての理解が深まった。しかし、社会にかかわる点でのアプローチが弱かった。現存する文化をさらに調べてみたいという思いや、大切にしたいという気持ちを醸成する手立てを考える必要がある。